

# 重度障害のある人の地域移行支援について

2018年5月26日(土)

午後2時～4時

近江町交流プラザ 4階 研修室1

(金沢市青草町88)

◆ 報告者 ◆

宮本 研太 さん

(弁護士・弁護士法人 金沢税務法律事務所)

高島 久美子 さん

(看護師・なないろ訪問看護ステーション)

☆ ご案内 ☆

2017年8月に「地域で暮らすためにみんなで考える会」(以下、考える会)が発足しました。会は、幼い頃にデュシェンヌ型筋ジストロフィーを患い、約37年もの間入院生活を続けてきた古込和宏さんを筆頭に、県内の医療・看護・介護従事者、法曹家、研究者など非常に多様なメンバーで構成されています。

古込さんの「地域で暮らす」という長年の希望を実現するために、あれこれ試行錯誤しながら、同年10月に退院をしてアパートで一人暮らしを送るところまで何とか漕ぎつけることができました。本当にやりたかったことは、まだまだこれからですが、とりあえず第一関門突破です。

古込さんの暮らしを支えるためには、食事や排せつの介助、呼吸器、服薬の管理、通院時の外出介助など、もの凄くたくさんの方の介護時間が必要になってきます。そのためには、「重度訪問介護」の24時間支援が絶対条件なのですが、当時、石川県では24時間の支給例はなく、金沢市など5市町の18人が短時間の支援を受けていただけでした。そこで「考える会」は、行政と対話による交渉を繰り返すことで信頼関係を築き、古込さんに必要な介護量を獲得することができました。

実際に退院してからも小さな問題は日々起きてはいますが、古込さんにとっては希望していた暮らしの中での出来事なので、苦ではなくむしろ楽しんでいる感じさえ伺えます。

研究会の場をお借りして、現行の障害者施策・制度の問題点(特に重度訪問介護の利用について)を整理し、これまでの古込さんへの支援に関する総括の機会とさせていただければ幸いです。大勢のみなさまの参加をお待ちしています。

参加費無料  
申し込み不要

主催：医療・福祉問題研究会

〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学地域創造学類社会保障論研究室内

ホームページ <http://ihmk.sakura.ne.jp/>

お問い合わせ先 (E-mail)

ihmk1986★gmail.com (送信時は、★→@に変えてください)